サポート情報記事

# List Filter Online の Query Builder: 条件、グループ、そして生成される CAML クエリ

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

# 免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

## 免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

## 誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

## フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

## 「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

## お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

# 目次


概要 4

**Query Builder** の場所 4

条件とグループ 5

列の種類ごとの演算子 7

静的条件と動的条件 8

定義済みフィルターとユーザー フィルターの組み合わせ 9

ツリーから **CAML** へ 10

　生成されたクエリの表示 11

大きなリストでの定義済みフィルター 12

制限事項 13

用語 14

# 概要

**Query Builder** は、Vitextra List Filter Online Web パーツの中でページ編集者が**定義済みフィルター**を設定する部分です。定義済みフィルターとは、Web パーツに表示されるすべてのアイテムが満たさなければならない条件の集合です。ユーザーはこのフィルターを見ることも解除することもできず、フィルター ウィンドウと列見出しのフィルターで結果をさらに絞り込むことだけができます。

定義済みフィルターは条件とグループのツリーとして保存され、**SharePoint** がサーバー側で実行する **クエリ**に変換されます。ブラウザーにすべてを読み込んでから絞り込むのではなく、条件に一致するアイテムだけがページ単位で返されます。これが、大きなリストでも Web パーツが高速に動作する理由です。

定義済みフィルターの代表的な用途:

- **現在のユーザーが作成または更新した**ドキュメントだけを表示する。
- ダッシュボード ページに**過去 12 か月**のレコードだけを表示する。
- **承認済み**のアイテム、**添付ファイルのある**アイテム、または **状態** が *Closed* ではないアイテムだけを表示する。
- 部署ごとにビューを作成することなく、1 つのリストから部署ごとのページを作成する。

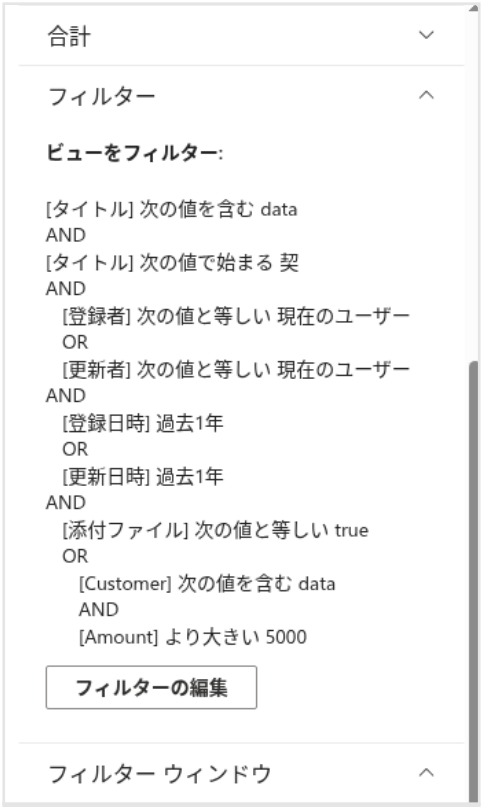
メモ

Query Builder は常に適用されるフィルターを定義します。ユーザーがフィルター ウィンドウで目にするコントロールは別途構成します。KB10255. List Filter Online のフィルター ペイン コントロールとサポートされる列の種類 を参照してください。

# Query Builder の場所

1 ページを編集モードで開き、List Filter Online Web パーツの **Web パーツの編集]** を選択します。
2 プロパティ ウィンドウで **フィルター]** グループまでスクロールします。**ビューをフィルター:]** のラベルの下に現在のフィルターのプレビューが表示されます。まだ何も定義されていない場合は **フィルターが適用されていません]** と表示されます。

3 **フィルターの編集]** を選択します。Query Builder が大きなサイド パネルで開きます。
4 クエリを組み立て、**保存]** を選択して適用するか、**キャンセル]** を選択して変更を破棄します。Web パーツは新しいフィルターで直ちに再描画されます。



*フィルターの編集] ボタン*

Query Builder は、**データ ソース]** グループで**サイトとリストまたはライブラリ**を選択した後にのみ使用できます。フィールドの一覧とその種類は、選択したリストから取得されるためです。

---

# 条件とグループ

クエリは 2 種類の構成要素で組み立てます。

- **条件**は 1 つの比較です: *フィールド* - *演算子* - *値*。たとえば `Amount` - *より大きい* - `5000` のようになります。値を必要としない演算子もあります (*データを含む*、*現在のユーザーである*、*今日*)。
- **グループ**は条件と他のグループを含み、1 つの論理演算子で結合します。**AND** (すべての条件が真) または **OR** (少なくとも 1 つの条件が真) です。グループの左端にあるトグルで切り替えます。

パネルには常に 1 つのルート グループがあり、これは削除できません。どのグループでも、追加] ボタンから 2 つのコマンドを選択できます。

- 条件] - 現在のグループに空の行を追加します。
- グループ] - 入れ子のグループ (既定では AND) を追加します。同じ方法で条件を入力します。

グループは他のグループ内に入れ子にできます。各行と各入れ子グループの右側には削除アイコンがあります。グループを削除すると、その中のすべてが削除されます。




*Query Builder で入れ子の AND/OR グループを使用したクエリ*

図のクエリは次のように読めます: *タイトルが空ではなく「C」で始まる* かつ *(自分が作成した、または自分が更新した)* かつ *(過去 1 年以内に作成された、または過去 1 年以内に更新された)* かつ *(添付ファイルがある、または Customer が入力されていて Amount が 5,000 より大きい)*。

## ヒント

ルート グループは **AND** のままにし、選択肢となる条件のまとまりはそれぞれ独自の **OR** グループに入れてください。この形のクエリはプレビューで読みやすく、後から拡張するのも簡単です。

## 列の種類ごとの演算子

行の**演算子**の一覧は、選択したフィールドの種類によって決まります。次の表は、サポートされる列の種類ごとに Query Builder が提供する演算子を示します。

| 列の種類 | 演算子 |
| --- | --- |
| **1** 行テキスト、複数行テキスト、ハイパーリンクまたは画像 | 次の値と等しい、次の値と等しくない、次の値で始まる、次の値を含む、データを含む、データを含まない |
| 選択肢 | 次の値と等しい、次の値と等しくない、次の値で始まる、次の値を含む、データを含む、データを含まない |
| 選択肢 **(**複数値**)**、参照、集計値 (テキスト結果) | 次の値と等しい、次の値と等しくない、データを含む、データを含まない (集計値では「次の値で始まる」と「次の値を含む」も使用可能) |
| 数値、通貨、**ID** | 次の値と等しい、次の値と等しくない、より大きい、以上、より小さい、以下 (数値では「データを含む」「データを含まない」も使用可能) |
| 日付と時刻 | 指定日、指定日以外、以降、後、以前、前、次の範囲内、今日、過去X日間、過去X週間、過去Xか月、過去X年、次のX日間、次のX週間、次のXか月、次のX年、データを含む、データを含まない |
| はい/いいえ | 次の値と等しい、次の値と等しくない、データを含む、データを含まない |
| 添付ファイル | 次の値と等しい、次の値と等しくない (値: はい / いいえ) |

| 列の種類 | 演算子 |
| --- | --- |
| ユーザーまたはグループ | 次の値と等しい、次の値と等しくない、現在のユーザーである、現在のユーザーではない、データを含む、データを含まない |
| 管理されたメタデータ (単一値および複数値) | 次の値と等しい、次の値と等しくない、次の値を含む、含まない、データを含む、データを含まない |
| 承認の状態 | 次の値と等しい、次の値と等しくない (値: 状態の一覧) |
| 評価、いいね! | 次の値と等しい、次の値と等しくない、データを含む、データを含まない (いいね!: 「データを含む」「データを含まない」のみ) |

*データを含む*と*データを含まない*は、CAML の **IsNotNull** と **IsNull** と同じように、列に何らかの値があるかどうかを判定します。

**値**のエディターも列の種類に従います。日付には日付の選択 (*次の範囲内*では 2 つの日付の選択)、数値と通貨には数値フィールド、**ユーザーまたはグループ**にはユーザー選択、**管理されたメタデータ**には用語の選択、はい/いいえと添付ファイルには *はい / いいえ* の一覧、**承認の状態**には状態の一覧、テキスト・選択肢・参照の列にはテキスト ボックスが表示されます。

**警告**

*システム列と読み取り専用の列 ( ID、一意 ID、バージョン、チェックアウト先など) はフィールドの一覧に表示されません。CAML で比較できない種類の列 (画像、場所、定期的なアイテムなど) も表示されません。*

## 静的条件と動的条件

**静的**条件は、入力した固定の値 (日付、数値、テキスト、ユーザー) と列を比較し

ます。値はそのままクエリに書き込まれます。*次の範囲内*は両端の日付を含み、暦日単位で判定されます。2 つの日付のうち 1 つだけを設定した場合、条件は片側のみの *以降* または *以前* になります。

**動的**条件は、**クエリが実行される時点**で SharePoint によって解決されます。そのため、同じページでもユーザーや日付によって表示されるアイテムが変わります。

| 演算子 | 解決方法 |
|---|---|
| **現在のユーザーである / 現在のユーザーではない** | ユーザー列をサインインしているユーザーの ID と比較します (CAML では `<UserID />`)。 |
| **今日** | 日付列を現在の日付と比較します (`<Today />`)。 |
| **過去X日間 / 週間 / か月 / 年** | *今日から X (日、週、月、年) 前から今日までの範囲。* |
| **次のX日間 / 週間 / か月 / 年** | *今日から今日から X (日、週、月、年) 後までの範囲。* |

*過去X*と*次のX*の数値は、行の値フィールドに入力します。**過去Xか月**と**過去X年**はクエリ生成時に開始日に変換されるため、*Modified - 過去X年 - 1* と設定したページは、誰もフィルターを編集しなくても常に直近 12 か月を対象とします。

メモ

SharePoint はサーバー側でクエリを評価します。月および年の範囲の境界日はクエリ生成時にブラウザーで計算され、`<Today />` は SharePoint によって解決されます。そのため、夜遅くに更新されたドキュメントが、ローカルの時計が示す日付とは別の日に分類されることがあります。

## 定義済みフィルターとユーザー フィルターの組み合わせ

ユーザーがフィルター ウィンドウや列見出しでフィルターを適用しても、Web パーツは定義済みフィルターを置き換えません。**定義済みフィルターとユーザー**

フィルターを **AND** で結合した新しいクエリを組み立てます。

```
<Where>
  <And>
  </And>
</Where>
```

知っておくべき結果:

- ユーザーは結果を絞り込むことはできますが、定義済みフィルターの範囲を超えて広げることはできません。*Created By - 現在のユーザーであるでフィルターされたページは、ユーザーがウィンドウで何を選択しても他の人のアイテムを表示しません。*
- 並べ替え、グループ化、集計、Excel へのエクスポートはすべて、組み合わせた結果に対して動作します。
- 保存済みフィルターとフィルター リンク (KB10253. List Filter Online でフィルターを保存し、フィルター済みビューのリンクを共有する を参照) には、クエリのユーザー部分だけが保存されます。定義済みフィルターはページ構成の一部であり、ページと共に移動します。

---

## ツリーから CAML へ

SharePoint リストのクエリ言語である CAML では、`<And>` と `<Or>` の中に置ける被演算子は**ちょうど 2 つ**です。そのため、3 つ以上のメンバーを持つグループは 1 つの要素としては書けず、入れ子になったペアの連鎖に折りたたむ必要があります。Query Builder はこの折りたたみに加えて、種類ごとの細部 - 各値の `Type` 属性、参照列の `LookupId`、日付比較の `IncludeTimeValue` - も処理します。

上の図のクエリは約 70 行の `<Where>` 句を生成します。比較を省略した骨格は次のとおりです。

```
<Where>
  <And>
    <Or>
      <Eq><FieldRef Name="Author" /><Value
Type="Integer"><UserID /></Value></Eq>
      <Eq><FieldRef Name="Editor" /><Value
Type="Integer"><UserID /></Value></Eq>
```

```
    </Or>
    <And>
      <Or>
        <And> <Geq Created 2025-10-21 /> <Leq Created <Today
/> /> </And>
        <And> <Geq Modified 2025-10-21 /> <Leq Modified
<Today /> /> </And>
      </Or>
      <And>
        <Or>
          <And> <IsNotNull Customer /> <Gt Amount 5000 /> </
And>
          <Eq Attachments 1 />
        </Or>
        <And> <IsNotNull Title /> <BeginsWith Title "C" />
</And>
      </And>
    </And>
  </And>
</Where>
```

*過去X年*の各行は 2 つの日付比較の <And> に、各 OR グループは <Or> 要素に、ルート AND グループの 4 つのメンバーは 3 つの入れ子の <And> 要素になりました。

## 生成されたクエリの表示

Web パーツが送信する正確な CAML (定義済みフィルター、現在のユーザー フィルター、**ビュー** フィールド、行数の上限、グループ化を含む) を確認するには、次の手順を実行します。

1 プロパティ ウィンドウで **開発者ツール]** を展開し、**開発者モードを有効にする]** をオンにします。
2 ページを保存します。Web パーツのコマンド バーの右端に開発者ツールのメニューが表示されます。
3 **CAML クエリ]** を選択します。クエリがダイアログに表示され、コピーできます。




*CAML クエリ] ダイアログには SharePoint に送信される正確なクエリが表示される*

ヒント

フィルターが完成したら、開発者モードを再びオフにしてください。このメニューは Web パーツを表示できるすべてのユーザーに表示されます。

## 大きなリストでの定義済みフィルター

5,000 アイテムを超えるリストでは、結果を絞り込む**最初の**条件が**インデックス付き**の列を使用してアイテム数を十分に絞り込む場合にのみ、SharePoint はクエリを実行します。定義済みフィルターは最初に実行されるものなので、ページがそもそも開くかどうかを左右します。

- ルート　グループはインデックス付き列の条件から始めてください　(*Created*、*Modified*、*Author*、*Editor*、*ID* などの列のインデックス状態を確認し、必要に応じてリストの設定でインデックスを作成してください)。
- ルートでは AND を優先してください。インデックスのない 2 つの列の間の OR は、どのインデックスも利用できません。

- 日付列にインデックスがある場合、動的な日付条件 (*過去X か月*、*今日*) は最初の条件として適しています。

詳細、フィルター構成ツールのインデックス警告、およびワンクリックでのインデックス作成については、KB10257. 大規模リストのフィルター処理: インデックス付き列と 5,000 アイテムのしきい値 を参照してください。

---

## 制限事項

- Query Builder は、データ ソースで選択した **1 つのリストまたはライブラリ**の列を対象とします。他のリストの列に対する条件は設定できません。
- 参照列と選択肢列の値は、**入力したテキスト**で照合されます。Query Builder にはこれらの値の選択ツールはありません。
- 条件を含まない入れ子グループは、クエリ生成時に無視されます。
- 実際にはほぼすべてのシナリオが 2〜3 レベルで対応でき、それより深いツリーはプレビューで読みにくくなります。
- 定義済みフィルターはユーザーには表示されません。一部のアイテムが表示されない理由をユーザーに知らせる必要がある場合は、Web パーツのタイトルまたはページ上にその旨を記載してください。

# 用語

**SharePoint**

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

## サイト

SharePoint サイトは、SharePoint プラットフォーム内の情報のコンテナーです。サイトには通常、ドキュメント ライブラリ、リスト、予定表、ディスカッション ボード、ワークフローなどの機能があり、チーム内または部門間でのコラボレーション、コミュニケーション、ドキュメント管理を促進します。サイトは、組織の特定のニーズやワークフローに合わせてカスタマイズおよび構成できます。

## ビュー

ビューは、リストまたはライブラリのどのアイテムをどのように表示するか (列、並べ替え、フィルター処理、グループ化、レイアウトを含む) を決定する、保存された構成です。ビューには、個人用ビューと公開ビューがあります。